

国語：小学校第1学年（光村図書）『すきなところをみつけよう（たぬきの糸車）』 1月予定  
 【本時で育成する資質・能力】 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること（精査・解釈）

【導入段階】 漢字指導や前時までの復習（ICT等を活用）「たぬきの糸車の音読」等

- たぬきは なぜ、まいばんまいばん 糸車をまわすまねをくりかえしたのでしょうか？
- おかみさんは なぜ、ふき出しそうに なったのでしょうか？
- おかみさんは なぜ、いたずらをするたぬきをにがしてやったのでしょうか？

最適解・納得解を導く学びを通して **思考力・判断力・表現力**を育成していくため、それぞれの場面のめあてを「**なぜ、登場人物がそのような行動をとったのか**」という「**心情**」を中心に考えさせる授業例です。

これら各場面の問いについても以下に示す展開例で進めていきます。



【めあて】

たぬきは なぜ、「うれしくて たまらないというように、ぴよぴよこ おどりながら かえたのでしょうか？」

【展開段階】 物語全体の内容の大体を捉えながら、「個人→友だちとの意見交流」で、考えを比較し、最適解・納得解となる登場人物の心情を導く

①個人での思考

第2場面で、おかみさんが糸をつむぐようすをまいばんのように見に来てたなあ。

第3場面で、わなにかかっていたところをおかみさんに助けてもらったよ。

第5場面で、糸をつむいでいるところをおかみさんに気付かれたよ。

※ 個人の考えをノートやタブレット等にかきせる

中部さんが友だちと比較して考えた**最適解・納得解**

③みんなの考えを全体で協議

（共通項＋追加項＋異なる考え）

自分の考えと比べながら、「なるほど！」と思った友達の意見とその理由を発表してください！

- 数名に発表させて、大枠2・3の意見に集約していく（同意見に対する挙手等）

※ 協働的な学びでの全体で協議する際の留意点については6/17中部教育事務所学力向上研修会：プレゼン参照

④協議を経てまとめる

【まとめ】 みんなの意見をまとめると…

いつも いたずらをしていたのに わなからたすけてくれたおかみさんの いつものしごとを すこしてつだえておんがえしが できたと思ったから。

【終末段階】 本時学習内容の定着&身近な生活につながる問いで習熟

レベル①「基本的な学習内容の習熟」の場合

みんなが**まとめたことを考えながらたぬきの気持ちになって**、その場面を**音読**してみましょう！

レベル②「実社会・実生活での活用をイメージした習熟」の場合

- たぬきは、おかみさんの仕事を手伝えて恩返しできたことが、うれしかったんだね。
- それでは、**おかみさんはたぬきが糸をつむいでくれたことについて どのような気持ちだったのでしょうか？** 教科書には書かれていないけれど、考えてみましょう！
- また、その**理由もお話の流れから考えてみましょう！**



②協働的な学び

- おかみさんに気付いてもらえてうれしかったから
- わなから助けてもらったお礼ができたから

つまり 中部さん 例えば

「お礼ができたから」は同じ意見だな。

そうかあ！糸をつむぐのが楽しかったからかあ

〇〇さんの意見のように「気付いてもらえてうれしかった」のかもしれない

チェック!! 【低学年での協働的な学びについての指導例】

- ① 時間を設定し、子供たちが**離席して、自由に、より多くの友だちと意見を交流**させる
- ② ①の際の視点として、「**誰の、どのような意見がなぜよいのか？**」を与え、**自身の考えと比較させながら**意見を交流をさせる
- ③ 着席後には、**②の結果を発表**させる

※ ①～③を各教科等で年間を通して指導することにより徐々にグループによる協働的な学びができるようにする。